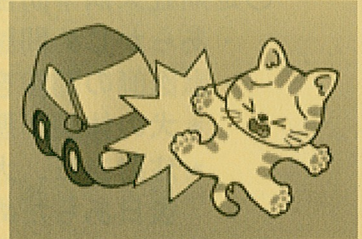


ペットの飼い方について

- ペットを飼う前に
 - ・飼う前に、動物を最後まで責任をもって飼えるか、将来のことも考えて家族と相談して下さい。
- ペットを飼う際の留意点
 - ・動物には飼い主が判るもの（鑑札、狂犬病予防注射済票、迷子札、マイクロチップ等）を着けて下さい。
 - 迷子になったときに、飼い主さんに連絡できます。
 - ・犬を飼う場合、糞や尿を家でするようにしつけることをおすすめします。
 - 台風や雪の中、長時間散歩をしなくても済みます。
 - ・猫を飼う場合、室内飼いをおすすめします。
 - 感染症や交通事故等が防げます。
- 不妊去勢手術について
 - ・繁殖を望まない場合には、不妊去勢手術を受けさせて下さい。
 - 発情による異常な鳴き声やケンカなどの問題行動が軽減します。
- 犬の散歩について
 - ・散歩をする場合は鑑札・狂犬病予防注射済票を装着し、犬を制御できる長さのリードをつけて散歩しましょう。
 - リードを引いて犬の行動を制御し、事故を防ぐことができます。
 - 定期的に首輪の緩みやリードの留め金等を確認しましょう。
 - ・糞や尿の始末は飼い主の責任です。マナーを守って散歩させましょう。
 - 飼い主が糞を持ち帰るのは当たり前ですが、人の玄関や壁・花壇に犬が尿を掛けてしまった場合でも、水で流すなど、皆が気持ちよく過ごせるようにご配慮下さい。



咬傷事故を防ぐために

- 毎年、様々な理由で咬傷事故が起きています。多くの場合、飼い主さんの目の届かないところで起きています。飼い犬はしっかり管理しましょう。
- 犬が人を咬んだ場合
 - ・犬が人を咬んだ場合、その犬の飼い主は、犬の所在地の保健所に咬傷届けを提出しなくてはなりません。詳しくは金沢市保健所衛生指導課または小動物管理センターまでお問い合わせ下さい。
 - 過去の咬傷事例
 - ☆ 宅配業者などの訪問者が、玄関先に繋いで飼われている犬に咬まれる事例が毎年発生しています。玄関アプローチは家族以外の方も通りますので、犬はアプローチに届かない様に繋いで下さい。
 - ☆ 散歩の際に犬同士のケンカになり、飼い主が咬まれることもよくあります。リードや首輪を点検し、犬が突然走り出したら、リードを引いて制御する様にしましょう。
 - ☆ お店の前に犬を繋いで買い物等をしている際に、犬が通行人を咬むケースもよく見られます。お散歩等の際は犬から離れないように注意して下さい。
 - ☆ 気性の激しい犬を散歩させていて、横から出てきた人に犬が驚いて咬んでしまうケースがまれにあります。その様な犬を散歩させる場合は、人通りの少ない道を散歩させる様にするとともに、散歩の時だけ口輪をすることも有効です。

